

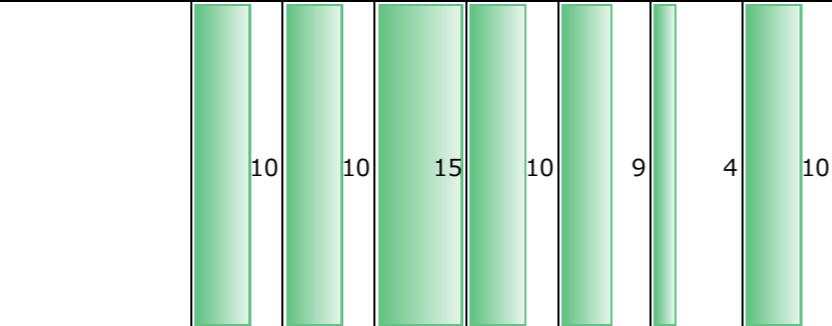
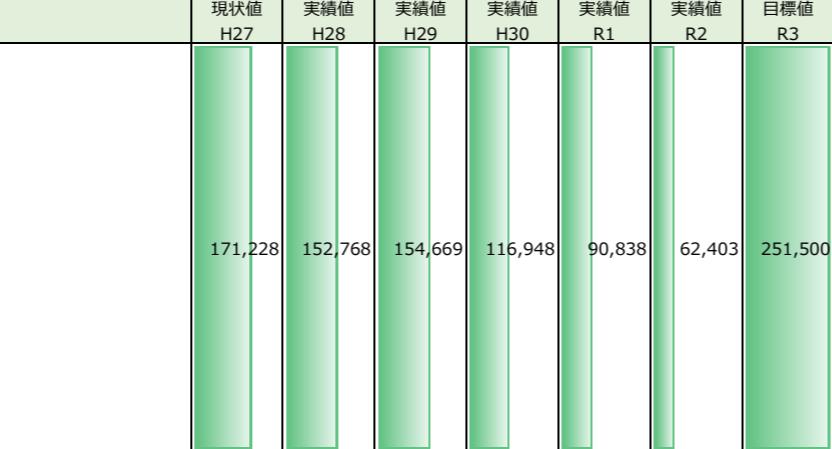
第二次長野市スポーツ推進計画 現況と課題

資料1

施策		施策の指標の実績値と目標値							現況と課題	
施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進										
施策1-1 健康寿命の延伸に寄与する生涯スポーツの推進		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位	
施 策 の 指 標	週 1 回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	59.1	54.7	55.9	56.1	59.9	59.9	65.0	%	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の運動・スポーツ人口は横ばいである。 ・一方で、取組としては、世代に応じてスポーツ教室をはじめとする様々な取組が実施されている。 ・台風災害やコロナ禍でスポーツをする環境が制限される中、スポーツ実施率を維持できたのは、市民アンケートの結果から身近で気軽に実施できる運動を行ったと捉えることができる。 ・市民の多くは「運動・スポーツは大切なもの」と認識しており、スポーツ人口は増加はしていないものの、おおむね維持されていると捉えられる。市の様々な取組が、スポーツ人口の維持に貢献しているものと考えられる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の高齢化率は、全国に比べると若干高い状態です。近年、健康寿命の延伸や社会保障費の抑制といった観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが重要となる。 ・健康寿命の延伸のためには、フレイル予防など高齢者の健康の維持はもとより、勤労世代からの生活習慣病予防や、年少時からの健康な心身の育成が必要となる。その際、健康づくり施策、高齢者福祉施策との役割分担も重要となる。
	週 3 回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	29.3	24.7	25.5	24.4	27.1	27.0	30.0	%	<p>審議会委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ会員の高齢化が進み、会員が減少している。新聞に募集案内を載せても見てももらえないが、SNSでクラブ紹介したところ、若い人が参加してくれた。そういう媒体を使って参加を募るのもいいと考えている。 ・長野市の社会体育館のガイドラインも知らない人が多く、コロナ禍で使えるのか使えないのかわかりづらい。HPで窓口を作ってもらい、使用のガイドラインを作成しつつスポーツを広げていけたらいい。 ・長野市民はまわりの地方都市と比べて健康寿命の増進意識が高い。体育施設ランキングは全国3位であり、1位は世田谷区、2位は練馬区である。こうした恵まれた環境で、いかに市民がスポーツに関わっていくよう仕向けていくかが、今回の推進計画の一番の骨子になっていく気がする。もう1点は、地域のスポーツ振興または文化芸術がそのまま都市のプランディングになっていく時代であり、都市のラベリングになっていくと考えている。秋田県能代市のバスケット、長野県のスキー・スケート、マラソン、バレー・ボールなどである。街中で若者が賑わいを創生していく要素としてスポーツはすごく有効な手段である。スポーツを通じたまちづくりに対して次回の計画でどのように具体化していくか楽しみにしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によりweb上のレッスンを進めてきた。運動する人を増やすには、簡単にできる、空いた時間にできる運動を動画配信してもよいと思う。 ・計画では「スポーツ参画人口の拡大」に視点を当てているが、子供達がスポーツや運動に親しむ意識は二極化されていると言われている。運動に一生懸命な子供がいれば触れる機会がない子供もあり、学校でも運動嫌いにさせないよう工夫していくべきと考えている。計画でも子供を巻き込む視点を盛り込んでほしい。市民がスポーツに触れ合う機会を増やしていくことに視点を当てる、スポーツ参画人口の拡大が見えてくると思う。 ・市内のスポーツ教室は女性の参加者が多い。家にいる男性をどう引っ張り出すかがひとつの課題。 ・いつでもどこでも気軽に見る、支えるということを市民が身近に感じてやっていくことがスポーツである。健康増進、高齢化に向けた部分、少子化による子供の健康の問題などがスポーツというひとつの括りとなり、最後はまちづくりまで含めた経済にも影響する広い視点が増えてきたと感じている。ポイントを3点挙げると、1点目が機会の醸成であり、スポーツをする機会、見る機会、支える機会をいかに広めていくか、2点目が情報発信をどうするか、3点目が施設を有効活用することで市民がスポーツに触れる機会が増えると思う。
主な取組		アンケート結果								
(1) 世代に応じた生涯スポーツプログラムの提供										
1-1 子どもたちのスポーツ活動の充実	a スポーツ教室の開催 b 子どもの健康・体力の保持向上 c 学校におけるスポーツ活動の充実、 d 中学校部活動の適切な実施 e 放課後における体力向上の機会 f 地域におけるスポーツ活動の充実	<p>（運動・スポーツの捉え方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動・スポーツは、「大切・まあまあ大切」（79.7%）と多くの市民が大切なものと認識しています <p>（運動・スポーツの実施状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内の運動・スポーツ人口は縮小しています ●よく実施されている運動・スポーツは、「ウォーキング・散歩」（51.4%）、「体操」（29.7%）、「トレーニング」（17.3%） ●平成27年度調査よりも、実施割合が5ポイント以上、上昇しているのは、「エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス」（5.7ポイントUp）、「水泳」（5.1ポイントUp） ●全国よりも、実施割合が5ポイント以上高い、本市で特徴的な運動・スポーツは、「体操」（15.5ポイント高い）、「スキー、スノーボード」（5.9ポイント高い） <p>（意識・きっかけ等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部活動等よりも、過去数年で始めた運動・スポーツを熱心に取り組む傾向があります。 ●運動・スポーツをはじめるきっかけは、「友人や家族等から勧められて」（37.7%）、「テレビや雑誌でスポーツ情報を見て」（16.3%）、「医師等から勧められて」（12.8%） ●実施した理由は、「健康のため」（79.1%）、「楽しみ、気晴らしとして」（53.7%）、「体力増進・維持のため」（51.1%） ●運動スポーツを実施した形式は、「個人で自由に」（67.9%）が突出して多くなっています <p>→総じて、思い立った時に、気軽に実施できる運動・スポーツへのニーズが高いと考えられます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツをしなかった理由は、「特に理由はない」（34.8%）が最も高くなっています （運動・スポーツを支える活動） ●何らかのスポーツを支える活動を行なった人は13.0%、今後行なう人は26.0% ●行っている人が支える活動を促進するためには、「機会、きっかけがあれば」（43.2%）、「短時間でも行える活動があれば」（35.0%）、「活動場所が自宅から近ければ」（32.3%） （情報入手先） ●運動・スポーツ情報の入手先は、「テレビ」（39.0%）、「市の広報紙」（33.8%）、「新聞」（33.2%）、「インターネット・SNS」（32.5%）となっています 								
(2) スポーツイベントの開催										
2-1 多様なスポーツイベントの開催	a N A G A N O スポーツフェスティバルの開催 b 飯綱高原におけるウォーキングイベントの開催									
(3) スポーツに関する情報提供										
3-1 スポーツ教室やイベントに関する情報提供	a きめ細やかな情報の発信									
3-2 サークルやスポーツ指導者に関する情報提供	a 市ホームページのスポーツ関係コーナーの充実									
3-3 スポーツ施設に関する情報提供	a 「長野市施設案内予約システム」の充実									
(4) スポーツ施設等の活用										
4-1 スポーツ施設の無料開放	a スポーツ施設の無料開放 b 冬期スポーツに親しむ機会の創出									
4-2 各地域の ウォーキング・トレッキングコースの活用	a ウォーキングコースのPRと活用 b トレッキングコースのPRと活用									

施策1-2 地域における自主的なスポーツ活動の促進		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位								
施策の指標	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,315	1,237	1,226	1,265	1,209	1,091	1,760	人	【現況】 ・総合型地域スポーツクラブの会員数は縮小しているが、参加意向は45.0%となっている。 ・市民の運動・スポーツに対する関心は高いものの、「個人で自由に」「思い立った時に、気軽に実施したい」というニーズが高く、総合型地域スポーツクラブや地域コミュニティ団体による活動が広がらない状況が生まれていると考えられる。 ・クラブの会員数が減少しているが、実施率は横ばい。組織・集団に属さずスポーツをする人が増加。							
										【課題】 ・世代や体力に応じたスポーツや運動の普及には、居住エリアに近い場所でスポーツをする場を増やしていくことが重要となる。スポーツ推進委員を養成とともに、総合型地域スポーツクラブや公民館等と連携しながら草の根的なスポーツの広がりを促進していくことが重要となる。 ・長野市のスポーツ振興における、総合型地域スポーツクラブや地域コミュニティ団体の役割を再整理していくことが必要。その際、部活動の地域移行等の動きを踏まえていくことは重要であり、役割に見合った活動支援を実施していくことが求められる。							
主な取組		アンケート結果					審議会委員の意見										
(1) スポーツ推進委員の資質向上							・第二次計画施策の“地域における自主的なスポーツ活動の促進”が難しかったと理解している。コロナ禍もすぐには戻らないので、第三次計画でも感染予防に基づいた指針を出していかざるを得ない。										
1-1 スポーツ推進委員の資質向上	a スポーツ推進委員に対する研修会の開催 b 地域における各種スポーツイベントの開催及び運営						今後の方向性 ・総合型地域スポーツクラブの認知度を高める。 ・総合型地域スポーツクラブの活動への参加者の増加。 ・「地域」の定義の整理。「〇〇地区⇒身近なエリアなど」。 ・スポーツ推進委員を通じた各地域のスポーツ活動の充実。										
(2) 総合型地域スポーツクラブとの積極的な連携や協働							●地域型スポーツクラブの認知度は、「言葉も内容も知っている」(7.1%)、参加意向は「参加している／今は参加していないが、今後参加したいと思う」(45.0%)となっています										
2-1 総合型地域スポーツクラブの創設と連携	a 総合型地域スポーツクラブの創設・運営に対する支援 b 長野市総合型地域スポーツクラブ連絡会 c 北信総合型地域スポーツクラブ連絡協議会																
2-2 地域の特性に応じたスポーツ教室の開催	a スポーツ教室の開催（再掲）																
(3) 地域コミュニティ団体のスポーツ活動の促進																	
3-1 住民自治協議会等が実施するスポーツ活動の促進	a 出前講座の開催 b 地域のリーダー育成のための講習会 c スポーツ用具等の貸与																
3-2 公民館によるスポーツ活動	a 公民館における取組																
施策1-3 障害者のスポーツ参加の機会拡大		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位								
施策の指標	長野市障害者スポーツ大会と講習会の参加人数	805	866	932	873	582	544	885	人	【現況】 ・H29に所管が障害福祉課からスポーツ課に移管された。H29～30はおおむね目標値に達しているが、R1は台風災害R2はコロナ禍による影響によるものと考えられる。 ・障害者スポーツに関わったことがある市民は11.2%にとどまっている。 ・障害者スポーツの体験会やイベントが開催できれば、一定の参加者数は見込める状況である。普及・啓発効果を高めるためには、これまで関わったことのない市民に向けて情報発信を強化していく必要がある。							
										【課題】 ・障害者スポーツ以外のスポーツ関連団体とも連携しながら、効果的な情報発信チャネルを開拓していくことが求められる。							
主な取組		アンケート結果					今後の方向性 ・情報発信の強化。 ・障害者スポーツイベントの開催(参加者の増加)。										
(1) 障害者のスポーツ参加の機会拡大							●障害者スポーツに関わったことがあるのは、11.2% ●障害のある人でもスポーツを実施しやすくなるために必要な取り組みは、「障害者スポーツイベントや体験機会の充実」(44.0%)、「障害者スポーツについての理解促進・PR」(43.3%)										
1-1 関係機関との連携	a 障害者スポーツを支える環境づくり																
1-2 障害者スポーツの普及・振興	a 健常者も含めた障害者スポーツの普及																
1-3 だれもが使いやすい施設づくりの推進	a 長野市障害者基本計画に基づく施設づくり b 障害者のスポーツ施設の利用に対する使用料の減免																

施策1-4 競技力の向上と底辺の拡大		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位	
国体長野県勢における長野市出場者の占有率		12.9	16.6	14.8	15.2	13.7	12.1	15.5	%	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市の出場者は減少傾向にある。 ・すべての競技を底上げすることは難しい状況と捉えられる。 ・スケートを中心に全国大会や国際大会で入賞するアスリートが増えてきている。市民の誇りと喜びとなり、本市のスポーツ環境全体に活力を生み出している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技人口の拡大、指導者の育成、競技団体の運営基盤の強化が求められる。 ・長野市に施設や指導者等が充実している強みのあるスポーツを中心に、市スポーツ協会と連携し競技力を向上させていくことも考えられる。その際、取組の実施計画を立て、成果を評価する等、効果的な施策についていための工夫も求められる。
主な取組		アンケート結果								
(1) 競技力の向上										
1-1 市スポーツ協会との連携・協力体制の強化		<p>a 競技水準向上事業、 スポーツ普及交流事業等への支援</p> <p>b 国際大会・全国大会に向けた選手育成</p> <p>c 選手強化等に伴い、市スポーツ協会を通じた 施設利用面における支援</p> <p>d 全国大会等への出場に対する激励金の交付</p>								
1-2 スケート競技の拠点化		<p>a スケート競技の専門家の継続した配置</p> <p>b エムウェーブスケートクラブを通した スピードスケートの競技力向上</p> <p>c 国内トップレベルの大会や国際大会の開催</p>								
1-3 地域密着型プロスポーツチームとの連携		a 市内のチームへのコーチの派遣や教室の開催								
(2) 競技スポーツ人口の拡大										
2-1 競技人口の拡大		a 各種競技の普及・交流への支援								
2-2 選手育成・タレント発掘		<p>a 長野市ジュニアスピードスケート選手 強化・育成プログラム (ドリームリンクNagano)への支援</p> <p>b 県が実施するタレント発掘事業 (SWANプロジェクト)の推進</p>								
施策1-5 スポーツ施設の計画的な整備・改修及び適正な管理運営		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位	
市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数		7.9	8.2	8.2	8.3	7.8	5.5	9.7	回	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1～2の実績値は台風災害やコロナ禍による影響と考えられる。 ・地域の運動・スポーツの拠点として社会体育館が定着している。 ・人口減少社会の中で、公共施設の適正配置、長寿命化の必要性が高まっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市公共施設等総合管理計画に沿って、適切に適正配置、長寿命化等を進めていく必要がある。 ・適正配置によって、運動・スポーツ人口が減らないよう、他のスポーツ振興施策を組み合わせながら、十分に配慮していくことが求められる。
主な取組		アンケート結果								
(1) スポーツ施設の整備・改修										
1-1 スポーツ施設の適正配置及び計画的な改修		<p>a 長野市公共施設マネジメント指針による 施設のあり方の検討</p> <p>b スポーツ施設の長寿命化に向けた改修</p> <p>c スポーツ施設の改善</p>								
1-2 市民ニーズの把握		<p>a スポーツ施設の利用者ニーズの把握</p> <p>b スポーツ推進市民アンケートの実施</p>								
(2) スポーツ施設の適正な管理・運営										
2-1 スポーツ施設の適正な管理・運営		<p>a 指定管理者制度の導入</p> <p>b 料金体系の検討</p>								

施策2 スポーツを通じた交流の拡大																								
施策2-1 國際大会や全国大会などの誘致・開催		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位															
施策の指標	国際大会・全国大会等の開催数								回															
	 <table border="1"> <tr><th>期間</th><th>現状値 (H27)</th><th>実績値 (H28)</th><th>実績値 (H29)</th><th>実績値 (H30)</th><th>実績値 (R1)</th><th>実績値 (R2)</th><th>目標値 (R3)</th></tr> <tr><td>H27</td><td>10</td><td>10</td><td>15</td><td>10</td><td>9</td><td>4</td><td>10</td></tr> </table>								期間	現状値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)	H27	10	10	15	10	9	4	10
期間	現状値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)																	
H27	10	10	15	10	9	4	10																	
主な取組		アンケート結果																						
(1) 國際大会や全国大会などの誘致・開催		<p>（スポーツ観戦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テレビやネットでスポーツ観戦した回答者は91.2%、直接観戦した回答者は51.1% ●観戦後のスポーツとの関わりは、「そのスポーツを自分自身が実施した」（15.1%）、「そのスポーツに関わるボランティア活動を実施した」（2.5%）となっており、一定の影響があると考えられます 																						
(2) 宿泊滞在型のスポーツイベントの促進		<table border="1"> <tr><td>宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催</td><td>a 宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催</td></tr> <tr><td>関係団体との連携</td><td>a ながの観光コンベンションビューロー等と連携した宿泊滞在型のスポーツイベントの誘致・開催</td></tr> </table>								宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催	a 宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催	関係団体との連携	a ながの観光コンベンションビューロー等と連携した宿泊滞在型のスポーツイベントの誘致・開催											
宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催	a 宿泊滞在型のスポーツイベントの継続開催																							
関係団体との連携	a ながの観光コンベンションビューロー等と連携した宿泊滞在型のスポーツイベントの誘致・開催																							
施策2-2 地域密着型プロスポーツチームとの連携		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位															
施策の指標	南長野運動公園総合球技場入場者数								人															
	 <table border="1"> <tr><th>期間</th><th>現状値 (H27)</th><th>実績値 (H28)</th><th>実績値 (H29)</th><th>実績値 (H30)</th><th>実績値 (R1)</th><th>実績値 (R2)</th><th>目標値 (R3)</th></tr> <tr><td>H27</td><td>171,228</td><td>152,768</td><td>154,669</td><td>116,948</td><td>90,838</td><td>62,403</td><td>251,500</td></tr> </table>								期間	現状値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)	H27	171,228	152,768	154,669	116,948	90,838	62,403	251,500
期間	現状値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)																	
H27	171,228	152,768	154,669	116,948	90,838	62,403	251,500																	
主な取組		アンケート結果																						
(1) A C長野バルセイロとの連携		<p>（地域密着型プロスポーツ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームごとの認知度は、「長野バルセイロ」（95.5%）が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」（80.2%）、「長野バルセイロレディース」（79.3%）となっています。発足されて間もない「ボアルース長野フットサルクラブ」（19.0%）は低くなっています ●直接観戦時の売上は、「長野バルセイロ」（371,603千円）が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」（131,369千円）、「長野バルセイロレディース」（67,393千円）、「ボアルース長野フットサルクラブ」（10,722千円）となっています 																						
(2) 広域での連携による交流人口の拡大		<table border="1"> <tr><td>北信地域の地域密着型プロスポーツチームとの連携</td><td>a 子どもたちを対象にしたスポーツ交流事業の開催保持向上</td></tr> <tr><td></td><td>b 地域密着型プロスポーツチームとの連携のあり方に関する研究</td></tr> </table>								北信地域の地域密着型プロスポーツチームとの連携	a 子どもたちを対象にしたスポーツ交流事業の開催保持向上		b 地域密着型プロスポーツチームとの連携のあり方に関する研究											
北信地域の地域密着型プロスポーツチームとの連携	a 子どもたちを対象にしたスポーツ交流事業の開催保持向上																							
	b 地域密着型プロスポーツチームとの連携のあり方に関する研究																							

施策2-3 オリンピックムーブメントの推進		現状値 H27	実績値 H28	実績値 H29	実績値 H30	実績値 R1	実績値 R2	目標値 R3	単位	
施策の指標	オリンピック教室の延べ受講者数	296	342	533	682	879	1,084	900	人	【現況】 ・オリンピック教室が毎年開催され、延べ受講者数が増えている。 ・オリンピックデーランが毎年開催されている。 【課題】 ・オリンピックムーブメントは、複数の施策を横断しながら、長野市の特徴を出していくための視点として、計画の中での位置づけを見直していくことが必要である。
主な取組										
(1) オリンピックムーブメントの継承	アンケート結果									
長野オリンピックを契機とした有形無形の財産の活用	<p>a 日本オリンピック委員会と長野市で締結した「パートナー都市協定」の活用 b 長野オリンピックミュージアムからの情報発信 c 国内トップレベルの大会や国際大会の開催（再掲） d 一校一国運動の継続 e 市民ボランティアとの連携と新たな担い手参加の推進 f その他</p> <p>●「運動・スポーツを広める活動」「国際大会や全国大会を実施する活動」「地域・社会に根づいたボランティア等の活動」「スケート等のトップアスリートを育成する活動」「子どもたちの国際交流の活動」は重要ではあるものの、まちにいきついているとはいえないという評価となっています</p>									
(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会との連携	<p>事前合宿等の誘致 a 事前合宿の誘致 b ホストタウンの登録</p> <p>文化プログラムとの連携 a 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力</p>									